Microsoft System Center

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックのガイド

Microsoft Corporation

発行日:2016 年 9 月

著作権

このドキュメントは “現状のまま” で提供されます。このドキュメントに記載されている情報や見解 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、予告なしに変更されることがあります

このドキュメントで使用される例は架空のものであり、説明のみを目的としています。実在する人物や実際の事柄との関連は一切ありません。

このドキュメントは、Microsoft 製品の知的財産権に関する法的な権利をお客様に許諾するものではありません。お客様は、内部的な参照目的に限り、ドキュメントを複製して使用することができます。お客様は、内部的な参照目的に限り、ドキュメントを編集することができます。

© 2016 Microsoft Corporation.All rights reserved.

Microsoft、Active Directory、Bing、BizTalk、Forefront、Hyper-V、Internet Explorer、JScript、SharePoint、Silverlight、SQL Database、SQL Server、Visio、Visual Basic、Visual Studio、Win32、Windows、Windows Azure、Windows Intune、Windows PowerShell、Windows Server、Windows Vista は Microsoft のグループの商標です。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。

目次

[System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックのガイド 4](#_Toc461778501)

[管理パックの目的 5](#_Toc461778502)

[監視シナリオ 5](#_Toc461778503)

[ヘルスのロールアップ方法 7](#_Toc461778504)

[System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックの管理パックを構成する 8](#_Toc461778505)

[リンク 8](#_Toc461778506)

[付録:管理パックの内容 9](#_Toc461778507)

[付録:ルール 12](#_Toc461778508)

[ルール 12](#_Toc461778509)

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックのガイド

本ガイドは、System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックのバージョン 10.0.0.0 に基づいて記述されています。

ガイド履歴

|  |  |
| --- | --- |
| リリース日 | 変更箇所 |
| 2015 年 1 月 | このガイドのオリジナル リリース |

サポートしている構成

この管理パックには、System Center Operations Manager 2012 以降が必要です。専用の Operations Manager 管理グループは必要ありません。

次の表は、System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックでサポートされている構成をまとめたものです。

|  |  |
| --- | --- |
| 構成 | サポート |
| Windows Server 2016 | Windows Server 2016 |
| クラスター化したサーバー | はい  |
| エージェントレスの監視 | サポートされていない/テストされていない |
| 仮想環境 | はい |

管理パックの範囲

この管理パックは Windows Server 2016 までをサポートします。

前提条件

この管理パックの実行要件を以下に示します。

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックをインストールする前に次の管理パックをインストールする必要があります。

* Windows Server ライブラリ管理パック
* Microsoft Windows Server クラスター管理パック

この管理パックのファイル

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックには、次のファイルが含まれています。

 Microsoft.Windows.MSDTC.2016.mp 10.0.0.0

 Microsoft.Windows.MSDTC.library.mp 10.0.0.0

管理パックの目的

このセクションでは、次のことについて説明します。

 [監視シナリオ](#z5a9ff008734b4183946f840ae0464ab0)

 [ヘルスのロールアップ方法](#zb8b3e32eb8154a8da8b18b606568e65d)

この管理パックに含まれる検出、ルール、モニター、ビュー、レポートの詳細については、[付録:管理パックの内容](#zf475f3cc57b84a049d89cda7b1f37ba8)を参照してください。

監視シナリオ

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックでは、オペレーターまたは管理者が監視、構成、報告対象とする MSDTC サービスが管理されます。

次のコンポーネント イベントはこの管理パックで取得されました。

* Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター (MSDTC)

#### System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックで検出されるオブジェクト

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックでは、次の表にある種類のオブジェクトが検出されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **オブジェクトの種類** | **自動検出** | **説明** |
| MSDTC サービス検出 | はい | MSDTC がインストールされているサーバー |
| MSDTC のクラスター化された MSDTC 役割の検出 | はい | クラスター化された MSDTC 役割 |

すべてのオブジェクトが自動的に検出されるとは限りません。自動的に検出できないオブジェクトを検出するには、オーバーライドを使用します。オブジェクト検出に関する詳細については、Operations Manager 2016 ヘルプのトピック「Object Discoveries in Operations Manager 2016」 (Operations Manager 2016 のオブジェクト検出) を参照してください。

次の手順で自動検出パラメーターを変更します。

#### オーバーライドを使用し、自動検出パラメーターを変更するには

1. [作成] ウィンドウで、**[管理パック オブジェクト]** を展開し、**[オブジェクト検出]** をクリックします。
2. [Operations Manager] ツール バーで、**[スコープ]** をクリックし、[詳細] ウィンドウに表示されるオブジェクトを絞り込みます。
3. [Operations Manager] ツール バーで、**[スコープ]** ボタンを使用してオブジェクトの一覧を絞り込み、**[MSDTC DTC Role Discovery]** (MSDTC DTC 役割の検出) をクリックします。
4. [Operations Manager] ツール バーで、**[上書き]** をクリックし、**[Override the Object Discovery]** (オブジェクト検出を上書きする) をクリックし、**[For all objects of type:]** (すべてのオブジェクトの種類:)**[Windows Server]**, **[For a group]** (グループ) をクリックします。
5. **[Overrides Properties]** (上書きのプロパティ) ダイアログ ボックスで、変更するパラメーターの **[上書き]** ボックスをクリックします。
6. **[管理パック]** で **[新規]** をクリックし、封印されていないバージョンの管理パックを作成し、**[OK]** をクリックします。

### クラス

次の図に、この管理パックで定義されているクラスを示します。

Windows!Microsoft.Windows.ComputerRole

Microsoft.MSDTC.10.0.ServerRole

Microsoft.MSDTC.10.0.Servers

Microsoft.MSDTC.10.0.ClusteredRoles

凡例

コンピューターの役割

サービス/クラスター化された役割

組み込みクラスから派生

MSDTC のサービスまたはクラスター化された役割のあるサーバー

派生

ホスティング

ヘルスのロールアップ方法

以下の図では、この管理パックで MSDTC サービスのヘルス状態をロールアップするしくみを示します。

**Microsoft.MSDTC.10.0.Servers**

**Microsoft.MSDTC.10.0.ServerRole**

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックの管理パックを構成する

このセクションでは、この管理パックを構成し、調整する方法を紹介します。

 [ベスト プラクティス:カスタマイズ用の管理パックの作成](#z2)

ベスト プラクティス:カスタマイズ用の管理パックの作成

Operations Manager の既定では、上書きなどのすべてのカスタマイズは既定の管理パックに保存されます。ベスト プラクティスとして、代わりに、カスタマイズする保護された管理パックごとに、別の管理パックを作成することをお勧めします。

封印された管理パックのカスタマイズした設定を保存する目的で管理パックを作成する場合、カスタマイズする管理パックの名前に基づいて新しい管理パックの名前を付けると便利です。

封印された管理パックそれぞれについて、カスタマイズを格納するための新しい管理パックを作成することで、カスタマイズをテスト環境から運用環境にエクスポートすることが簡単になります。また、管理パックを削除する場合は、その前にすべての依存するファイルを削除する必要があるため、管理パックの削除も容易になります。既定の管理パックにすべての管理パックのカスタマイズを保存していて、1 つの管理パックを削除する必要がある場合、最初に既定の管理パックを削除する必要があり、それにより他の管理パックへのカスタマイズも削除されてしまいます。

リンク

以下のリンクでは、System Center 管理パックに関連付けた共通タスクに関する情報にアクセスできます。

System Center 2016 - Operations Manager

 [管理パックのライフ サイクル](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkID=232986)

 [管理パックのインポート方法](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkID=219431)

 [ターゲット設定とオーバーライドによる監視の調整](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkID=217065)

 [実行アカウントの作成方法](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=232988)

 [管理パックのエクスポート方法](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=232990)

 [管理パックの削除方法](http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=232991)

Operations Manager 2007 R2

 [管理パックのライフ サイクルの管理](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=211463)

 [Operations Manager 2007 に管理パックをインポートする方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=142351)

 [オーバーライドで監視する方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=117777)

 [Operations Manager 2007 で実行アカウントを作成する方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=165410)

 [既存の実行プロファイルの変更方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=165412)

 [管理パックのカスタマイズのエクスポート方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=209940)

 [管理パックの削除方法](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=209941)

Operations Manager と監視パックについては、[System Center Operations Manager コミュニティ フォーラム](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=179635)を参照してください。

また、[System Center Operations Manager Unleashed ブログ](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=246391)では、個々の管理パックの “例示” 投稿を紹介しています。

Operations Manager の詳細については、[System Center 2016 - Operations Manager Survival Guide](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=246383) と [Operations Manager 2007 Management Pack and Report Authoring Resources](http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=246388) を参照してください。

重要

Microsoft 以外のサイトの情報やコンテンツについては、それぞれの Web サイトのオーナーやユーザーによるものを参照してください。この Web サイトの掲載内容について、Microsoft は明示、暗黙、法定を問わず、一切責任を負いません。

付録:管理パックの内容

System Center 2016 Operations Manager の Windows Server 2016 分散トランザクション コーディネーター管理パックでは、次のセクションにある種類のオブジェクトが検出されます。すべてのオブジェクトが自動的に検出されるとは限りません。自動的に検出できないオブジェクトを検出するには、オーバーライドを使用します。

Microsoft.MSDTC.10.0.Discovery

検出情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 間隔 | 有効 | 有効にするタイミング |
| 43200 秒 | 真 | 該当なし |

関連モニター

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| モニター | データ ソース | 間隔 | アラート | リセット動作 | 対応するルール | 有効 | 有効にするタイミング |
| Microsoft.MSDTC.10.0.Monitor.Service | サービス名 = MSDTC | 間隔 | 真 アラートの優先順位:通常アラートの重要度:エラー | 自動  |  | 真  |  “該当なし” |

注

コネクタを使用している場合、モニターを無効にして、その対応ルールを有効にすればヘルス ステータスを変更せずに警告を有効にできます。

注

ルールを無効にし、その対応モニターを有効にして、警告、状態の変更、ヘルス ロールアップを有効にします。

関連ビュー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 表示 | 説明 | ビューを設定するルールとモニター |
| Microsoft.MSDTC.10.0.State.View | MSDTC サービスを表示する | **** Microsoft.MSDTC.10.0.Monitor.Service |

Microsoft.MSDTC.10.0.ClusteredRoleDiscovery

検出情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 間隔 | 有効 | 有効にするタイミング |
| 43200 秒 | 真 | 該当なし |

関連モニター

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| モニター | データ ソース | 間隔 | アラート | リセット動作 | 対応するルール | 有効 | 有効にするタイミング |
| Microsoft.MSDTC.10.0.Monitor.ClusteredRole | MSCLUSTER\_Resource | 間隔 | 偽 | 自動  |  | 真  |  “該当なし” |

注

コネクタを使用している場合、モニターを無効にして、その対応ルールを有効にすればヘルス ステータスを変更せずに警告を有効にできます。

注

ルールを無効にし、その対応モニターを有効にして、警告、状態の変更、ヘルス ロールアップを有効にします。

関連ビュー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 表示 | 説明 | ビューを設定するルールとモニター |
| Microsoft.MSDTC.10.0.ClusteredRoles.State.View | クラスター化された MSDTC 役割を表示する | **** Microsoft.MSDTC.10.0.Monitor.ClusteredRole |

付録:ルール

次の表は、管理パックのルールをまとめたものです。

注

ご利用の環境によっては一部のルールがノイズを発生させることがあります。

ルール

イベント ベース ルール

| **名前** | **種類** | **イベント ID** | **有効?** |
| --- | --- | --- | --- |
| Windows ディレクトリの System32 フォルダーに必要なファイルがありません。 | イベントの収集 | 4143,4212,4213,4214,4129 | はい |
| ネットワーク接続とファイアウォール設定を確認します。 | イベントの収集 | 4358,4359 | はい |
| システムにより、予期しないエラーが報告されました。MSDTC を再インストールして解決します。 | イベントの収集 | 4418 | はい |
| サービスを再起動する必要があります。または、ファイルが不足しています。 | イベントの収集 | 4424,4228 | はい |
| 低リソース状況を確認します。 | イベントの収集 | 4425 | はい |
| MSDTC を再起動する | イベントの収集 | 4363,4367,4368,4370,4155,4168,4169,4170,4209,4229,4230,4233,4355,4356,4433,4434,4435,4436,4441,4455,4456,53321 | はい |